

第1回堀切菖蒲園駅周辺地区 まちづくり勉強会 ～歩いて楽しい空間や賑わいづくり～



令和7年9月27日

次第

1 駅周辺地区で望まれる取組

2 事例紹介

テーマ:「歩いて楽しい空間や賑わいづくり」

(1) 道路空間の利活用の取組

(2) 店先空間づくりの取組

(3) まちの担い手づくりの取組

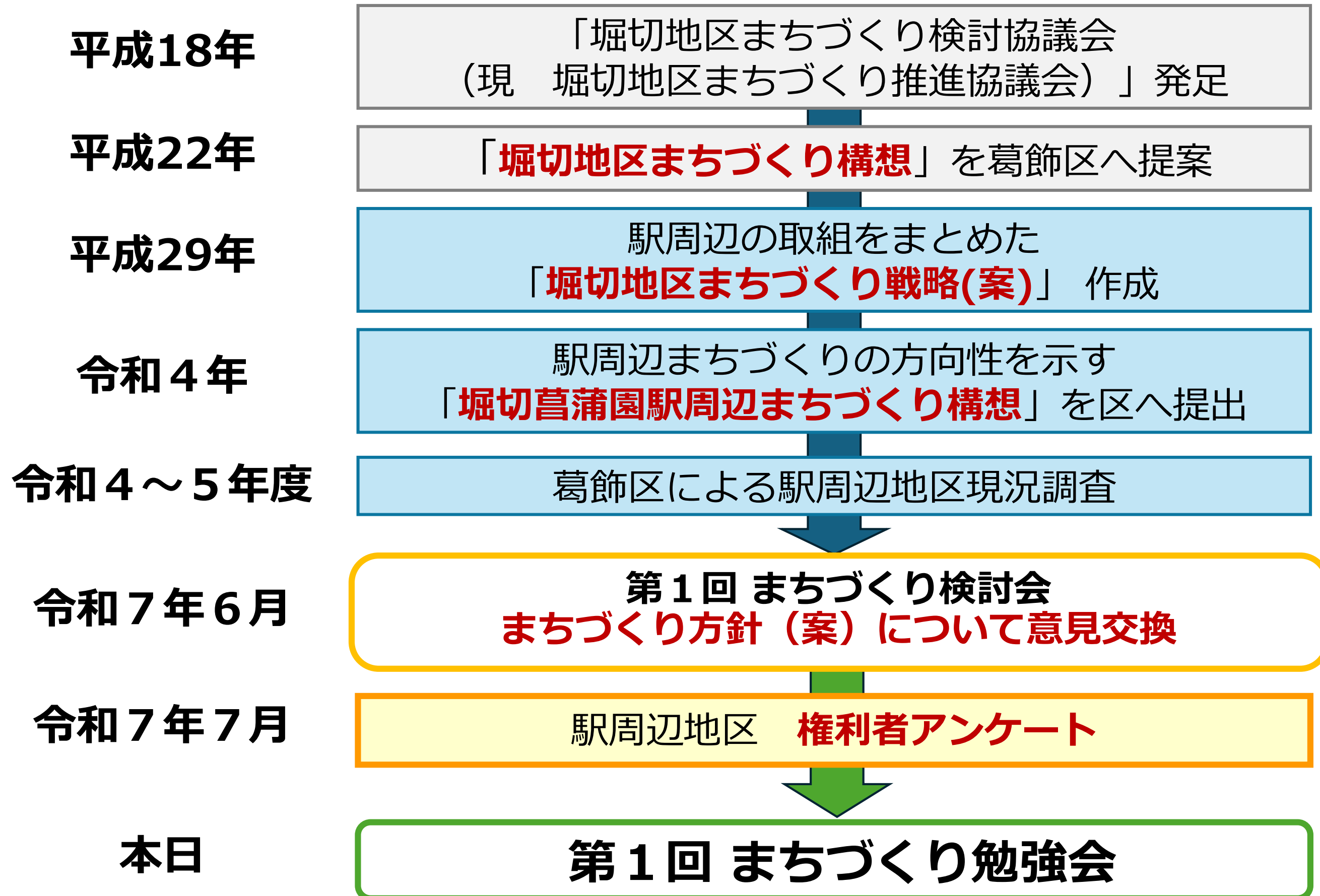
3 意見交換

4 今後の予定

1 駅周辺地区で望まれる取組

これまでの経緯

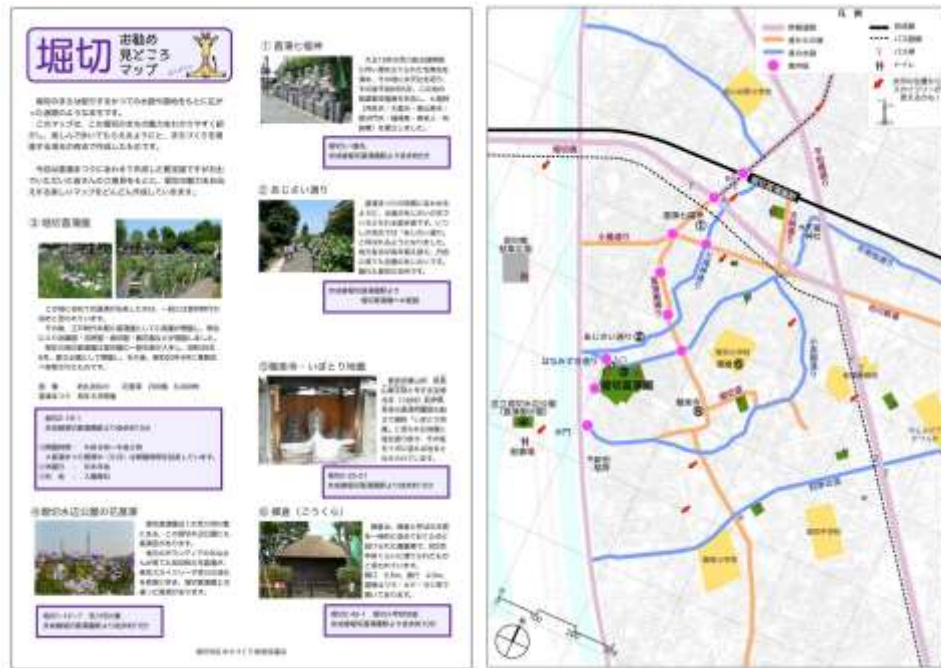
○これまでの経緯



地域活性化に係るこれまでの協議会での取組

● 地域の見どころマップ作成 (H23～H25)

- ・ 堀切のお勧め見どころを紹介するマップを作成し、菖蒲まつりで配布



- ・ H25にはまちの成り立ちを伝える「ミステリーマップ」を作成



● 地域イベントでの活動周知 (H30)

- ・ 協議会でのまちづくり活動周知のため、6月の菖蒲まつりや1月の大凧揚げ大会でパネル展示・アンケートを実施



地域活性化に係るこれまでの協議会での取組

●わがまち堀切 魅力めぐり (R1)

- ・住民とともに堀切の魅力を再発見するため、町工場や歴史スポットを巡る取組
- ・令和元年3月と11月に実施



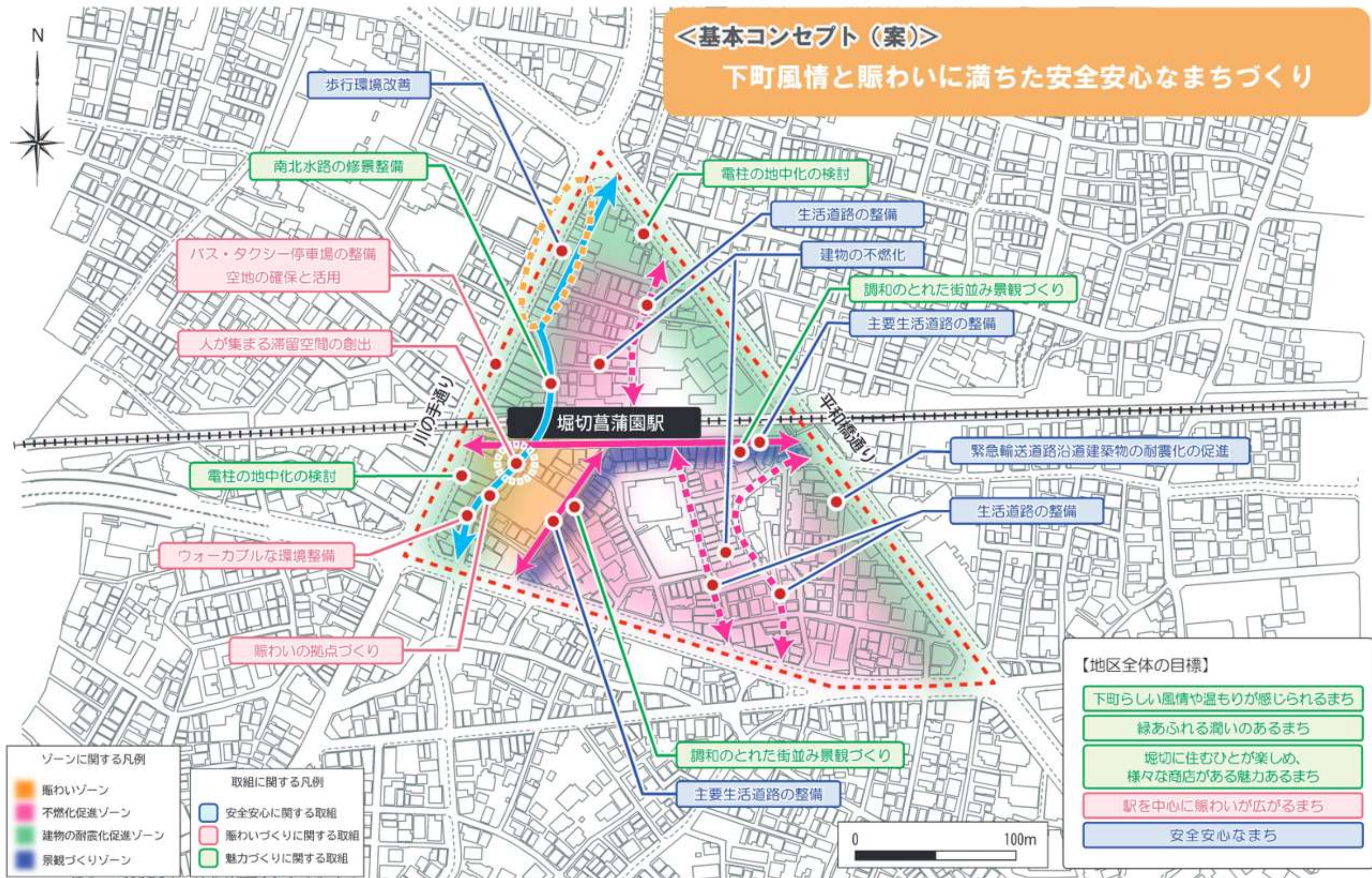
●賑わいのある道づくり (H30～R2)

- ・新たな人の流れのデザインに向けた取組の1つとして、タイル更新や歩道の舗装等を実施



昨年度の検討成果：まちづくり方針（案）

○堀切菖蒲園駅周辺地区まちづくり方針（案）



第1回まちづくり検討会の結果まとめ

○検討会で挙げられた主な取組

地区全体の課題

- ① 安全に避難でき、緊急車両が通れる道路幅員（4m以上）を確保
- ② 建替えルールや費用の支援による燃えにくい建物への建替え促進
- ③ 駅周辺の吸い殻の掃除など、まちの美化の推進
- ④ 商店街や事業者など、多くの方の参画によるまちづくりの検討

賑わいゾーンの課題

- ⑤ 歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路
- ⑥ 駅周辺での地域活動やイベント等に活用できる広場の設置

景観づくりゾーンの課題

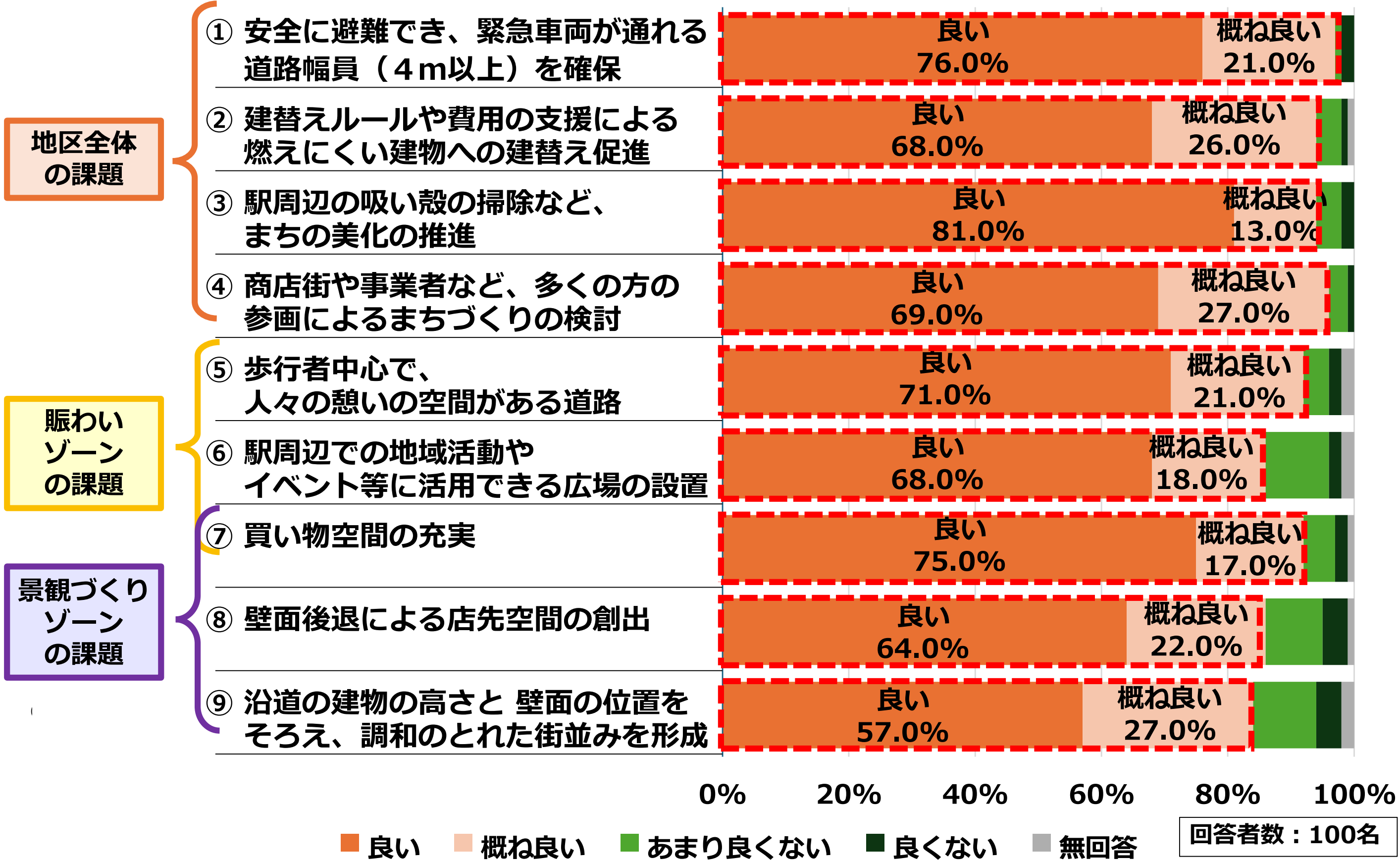
- ⑦ 買い物空間の充実
- ⑧ 壁面後退による店先空間の創出
- ⑨ 沿道の建物の高さや壁面の位置をそろえ、調和のとれた街並みを形成

⇒アンケートを実施し、特に重視する取組とエリアを抽出

第1回アンケート調査（令和7年7～8月）の結果

設問：①～⑨の各取組について、どのように思うか。

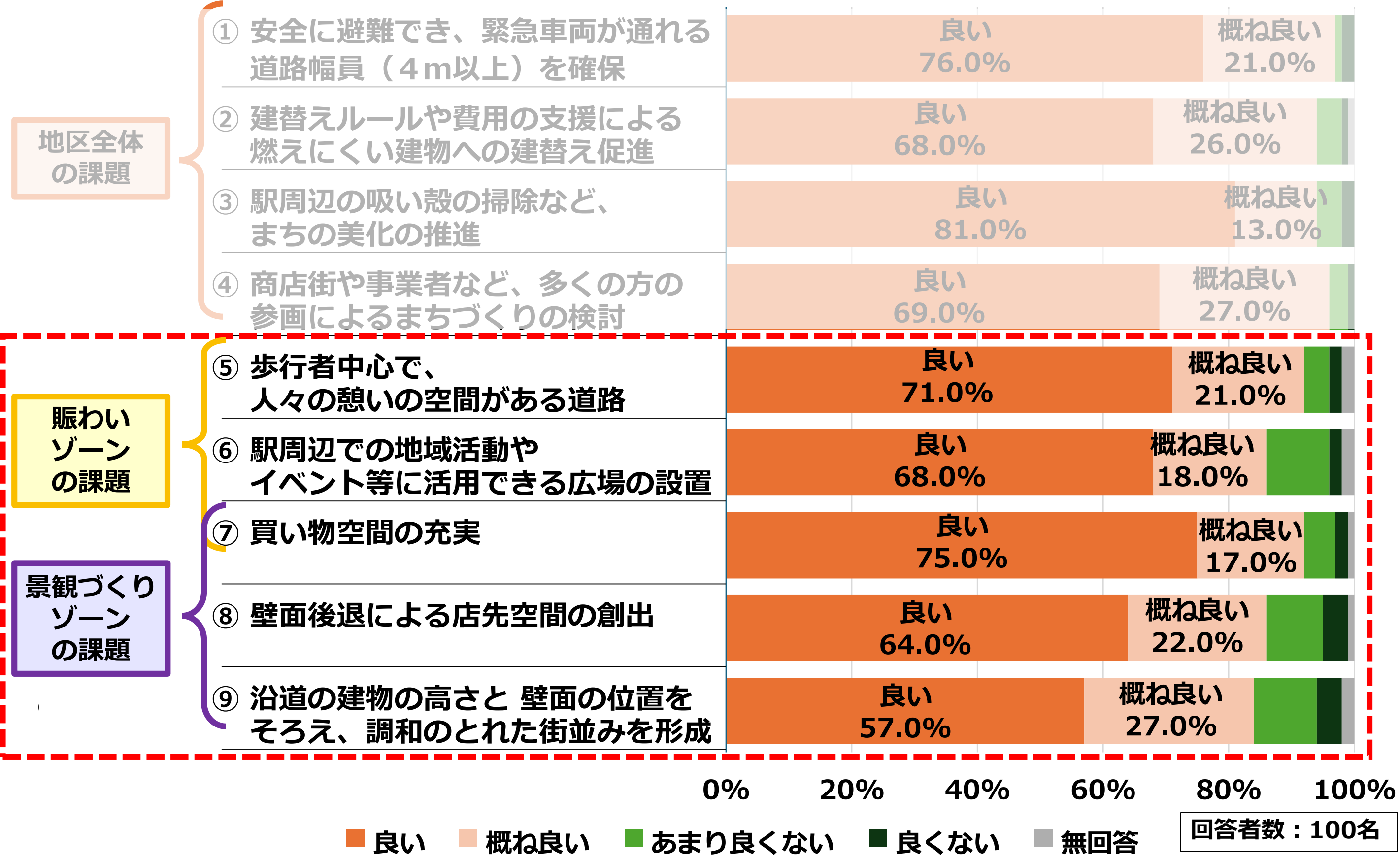
全ての取組で「良い」「概ね良い」の合計が8割を超えていた



第1回アンケート調査（令和7年7～8月）の結果

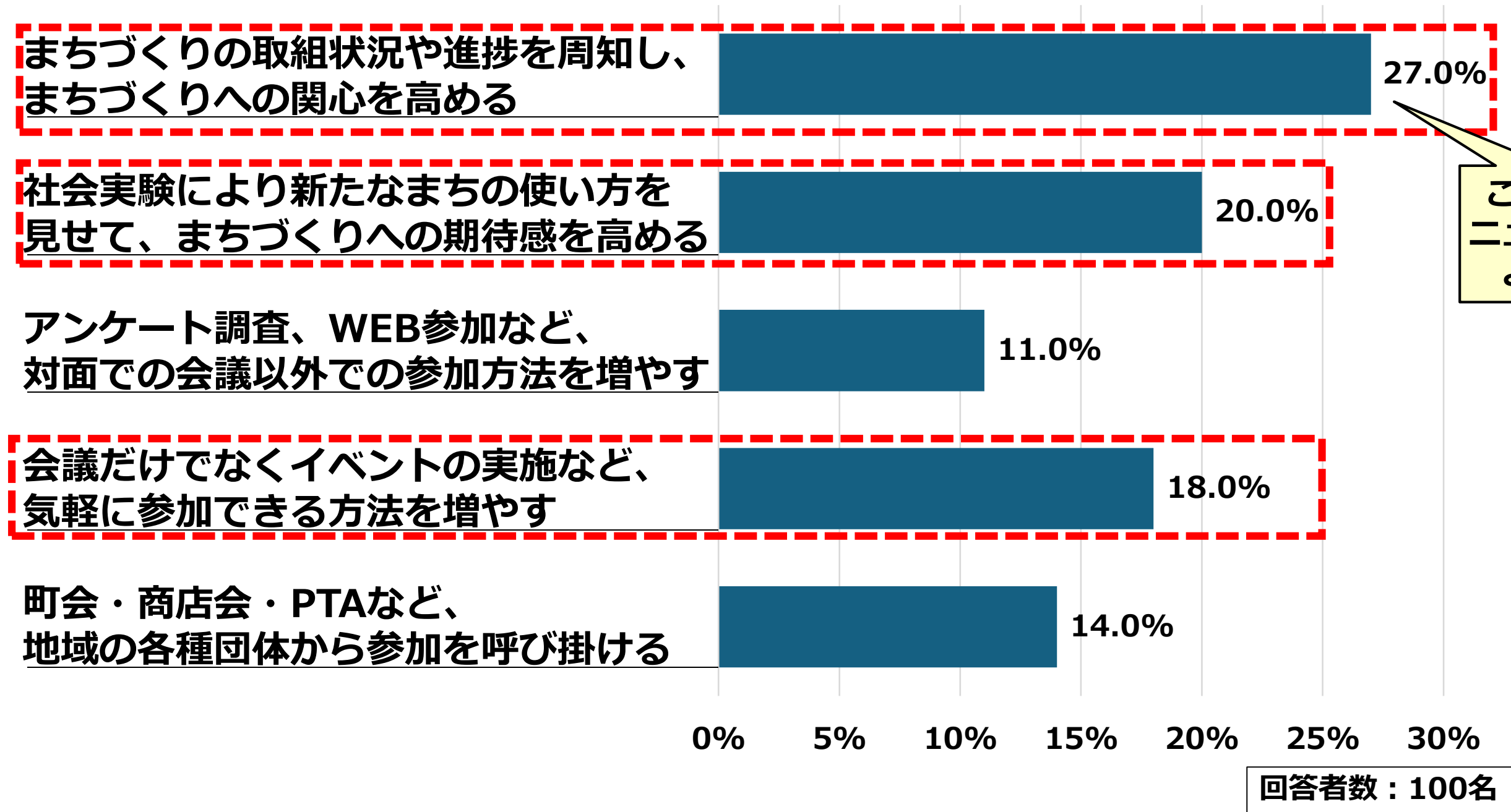
設問：①～⑨の各取組について、どのように思うか。

賑わいゾーン・景観づくりゾーンでの取組の必要性が認識された。



第1回アンケート調査（令和7年7～8月）の結果

設問：多くの方の参画によるまちづくりを進めるのに効果的なことは。



これまでも
ニュース等により実施

「社会実験により新たなまちの使い方を見せる」
「イベントなど、気軽に参加できる方法を増やす」など、
これまでとは異なるアプローチが効果的との意見

第1回アンケート調査（令和7年7～8月）の結果

記述回答の概要

■ 道路空間に関する意見

- ・ 駅につながり、多くの歩行者が行きかう道路には憩いの空間が必要
- ・ 区民が手続きや文化活動を行う人が集まりやすい場所に憩いの場所を創出

➡ 多くの人が利用する道路は憩いの空間が必要

■ 景観づくりに関する意見

- ・ 夜はまち全体が暗いため、人が来やすい明るい雰囲気作り
- ・ 駅前や菖蒲園につながるゾーンは、景観づくりに力を入れるべき
- ・ 飲食店が多いので、景観づくりを促進することで、より消費を促し活性化できる

➡ 多くの人が利用し、地域の顔となるエリアは景観づくりが必要

■ まちづくりへの参画に関する意見

- ・ まちの住民や事業者が真剣に街を変えたい、作りたいと思うことが重要
- ・ 関係者を取組に巻き込み、自分事にさせることが優先である

➡ まちづくりの機運を高めるため、多くの人々の参画を促す取組が必要

■ 店先空間に関する意見

- ・ 駅周囲の道路にゆとりがあった方がよい
- ・ 壁面後退させるほどの広さがなく、ルールを守らない店が多い
- ・ セットバックは家が狭くなるが、道路を使う側としてはありがたい

➡ 道路が狭くともゆとりある賑わい空間づくりのため、店先空間の創出が必要

これまでのご意見から 景観づくりゾーン・賑わいゾーンで特に望まれる取組

○第1回アンケート結果（総括）

- ・ 検討会で挙げられた取組について、賑わいゾーン・景観づくりゾーンでの取組の必要性を確認
- ・ 社会実験、地域イベントなど、**まちづくりへの関心を高める新たな取組**が必要
- ・ 「歩行者中心の道路」「店先空間の創出、景観づくり」「多くの人々の参画」が大事

○第1回検討会での主なご意見

- ・ イベントなど、**すぐにできることから取り組み**、周辺に広がっていくことを期待
- ・ まちづくりがなかなか進まないと思っている人が多いので、**変化が見える**と良い
- ・ まちづくりに住民・商店会など**多くの方々が参画**することが必要

○勉強会の検討テーマ

～歩いて楽しめる
空間や賑わいづくり～

視点1：

歩いて楽しめる道路空間の形成

視点2：

地域の顔となる賑わい空間の創出

視点3：

多くの人々を巻き込む、まちの担い手づくり

2 事例紹介

テーマ:「歩いて楽しい空間や賑わいづくり」

- (1) 道路空間等の利活用 of 取組
- (2) 店先空間づくり of 取組
- (3) まちの担い手づくり of 取組

(1)道路空間等の利活用の取組

■事例 1 : 世田谷区茶沢通り ^{ちゃざわ} ～社会実験で一時的な滞在空間づくり～

- 三軒茶屋の茶沢通りは、限られた道路に自転車が多く走り、歩行者が座ってくつろげるスペースが少ない。
- 来街者のための休憩スペースとして、人工芝やイス等を道路上に設置し一時的に滞在性を向上させる社会実験を行っている。



社会実験の様子

出典：世田谷区HP



社会実験の様子

出典：世田谷区HP

国土舘大学との協働で年4回程度、
内容を変えながら実施

(1)道路空間等の利活用の取組

■事例2：渋谷区宮益坂 みやますざか ～社会実験から再整備へ～

- **路上駐車が目立つ道路**において、歩行者が休息できるたまり空間を形成し、**再整備に向けた道路空間の新しい使い方を検証**するため、路上駐車スペースを活用した社会実験を実施。
- 歩いて楽しい道路の使い方が提示され、**将来的な整備イメージが共有**される。
- 現在、歩行者中心の道路に向けた**本格的な再整備**を実施中。



出典：ソトノバHP

社会実験により、
歩いて楽しめる
道路の使い方を
提示



社会実験の様子

出典：ソトノバHP



再整備イメージ

出典：渋谷区HP

現在、歩道部分の拡幅や
道路の美装化等の再整備中

(1)道路空間等の利活用の取組

■事例3：茨木市^{いばらき}広場活用社会実験「IBALAB」 ～参加型の広場づくり～

- 「みんなで育てる広場」の取組として、**広場づくりから企画づくり、実施まで**市民とともに行う社会実験
- 期間限定の芝生広場（約600m²）をつくり、どのような使い方ができるかを考え、実際にやってみて検証。
- フリマ等の広場での企画、芝張り・花植え等まで、市民有志が全面的に参加。
- 当事者として**楽しく参加できるイベント形式で、多くの人の参加を促す。**



芝生広場づくりイベント

出典：茨木市HP



花植えイベント

出典：茨木市HP



使わなくなった玩具で遊ぶイベント

出典：茨木市HP

(1)道路空間等の利活用の取組

◎堀切菖蒲園駅周辺地区で活かせる点

- 駅周辺地区には、赤札堂のあるコミュニティ道路や歩行者専用道など、**歩いて楽しめる環境となる道路**がある。
- コミュニティ道路は、**まちの顔となる比較的ゆとりある空間**
⇒ここを利活用する取組から、まちの変化を起こすのも効果的
- まちづくりの機運を高める必要ありとの意見
⇒気軽に参加できる**イベント形式等の取り入れ**により、機運UPを目指す



まちの顔となり、比較的
ゆとりのある歩行空間



緑が多く安全に
散策できる道路

(2)店先空間づくりの取組

■事例 1：新宿区神楽坂 ～限られた道路と民地を有効活用～

- 前面道路が4 m未満の路地が多く、まちづくりルールで求められる壁面後退は必要最低限の幅員
- 壁面後退区域では**おもてなしの空間づくり**や**歩行空間との一体利用**など、様々な利用の工夫が見られる



道路部分と似たような舗装とし、
一体的な歩行空間として活用



店先のおもてなし空間と
して活用

出典：グーグルマップ

(2)店先空間づくりの取組

■事例2：台東区谷中 ～店先空間を有効活用～

- 前面道路が狭く、まちづくりルールで求められる壁面後退は必要最低限の幅員
- 壁面後退部分の店先空間を、おもてなしや一休みできる空間として活用



店先空間を、看板や店の商品の
展示スペースとして利用



出典：グーグルマップ

店舗で買ったものを食べて一休みできる場や、
看板を置くスペースとして活用
⇒店先空間の有効活用により、限られた
道路を安全な通行空間にすることに寄与

(2)店先空間づくりの取組

◎堀切菖蒲園駅周辺地区で活かせる点

- 駅周辺地区は「道路が狭い」「空間にゆとりが無い」などの意見がある
⇒ 店先空間を有効に使うことで、**限られた道路でも安全な通行空間を提供**できる可能性
- 堀切の**下町風情の町並みを活かしたコスプレイベント**が開催
⇒ 下町らしい景観は若者を引き付けており、店先空間等でのより良い景観づくりは、魅力UPにつながる可能性



店先空間の活用は、限られた道路空間を安全に使え、快適に歩ける空間づくりにつながる



下町風情のある街を活かし、コスプレでの撮影がチケット制でできるイベント「acosta」が開催され、若手の注目を集める

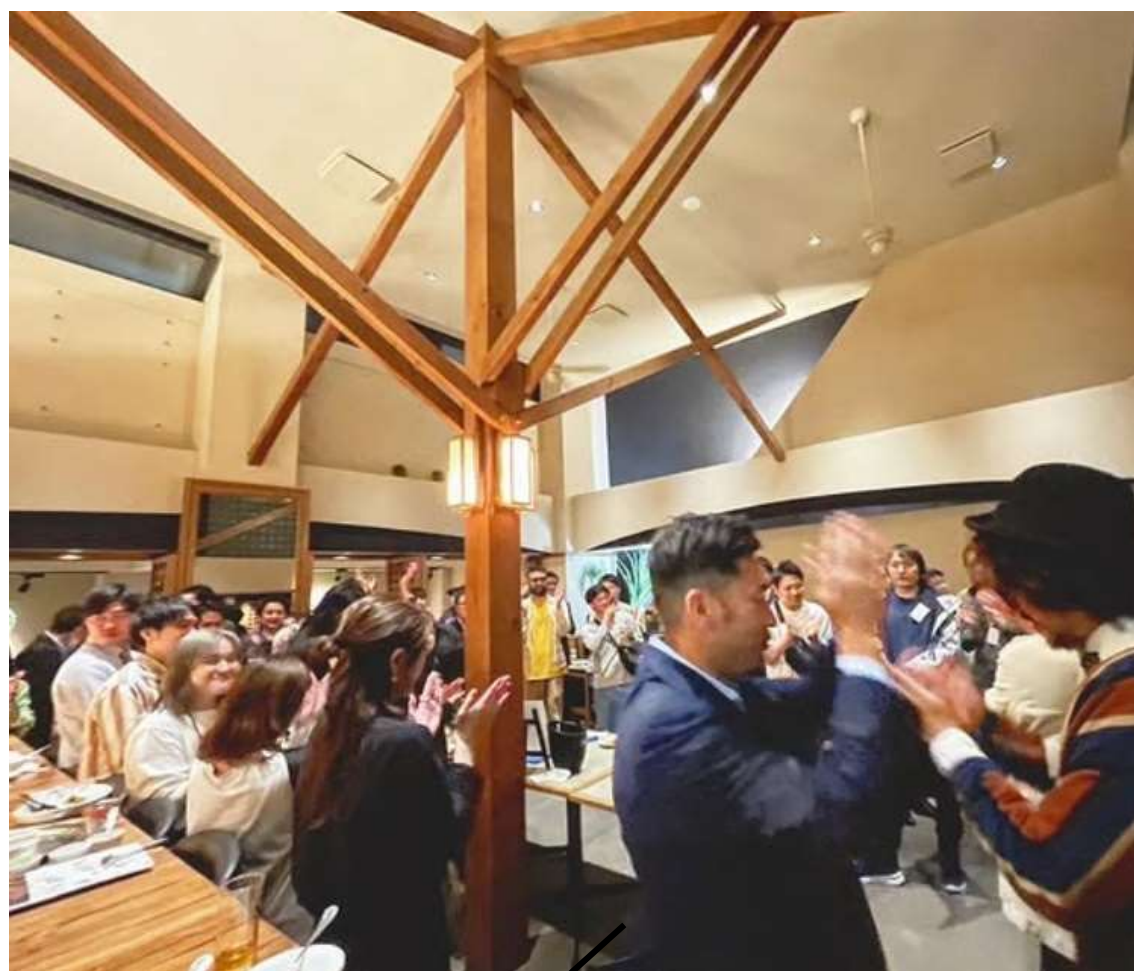


出典：acostaHP

(3) まちの担い手づくりの取組

■事例1：目黒区 自由が丘青年部「LET'S」～若手のまちの担い手づくり～

- 商店会組織の高齢化を背景に、**街を盛り上げる実働部隊**として結成され、参加資格は**45歳まで**で。自由が丘好きなら、商店主でなくとも**誰でも参加できる組織**。
- 祭りやイベント時の出店や懇親イベントなど、様々な企画・イベントを皆で考えて、**仲間作り**を行い、100名超が活動している。



出典：自由が丘青年部Instagram

新規メンバーの顔合わせ会



地域お祭り等では青年部
独自の出店企画を実施



出典：自由が丘青年部Instagram

(3) まちの担い手づくりの取組

■事例2：熊本県阿蘇市 「若きやもん会」～若手のまちの担い手づくり～

- 阿蘇神社に隣接する阿蘇門前町商店街では、**まちの衰退に危機感を持った商店街の2代目が中心**となり、**若手組織「若きやもん会」**を結成。
- 30年続く「金曜夜市」の賑わいの復活や地域の桜並木や湧き水を活用した「お座敷商店街」等の取組により、**小さな成功を重ねることで商店街の連帯感を醸成**しつつ、賑わいを再生している。



出典：中小企業庁HP

抽選会等の新しい企画で、来場者減少が続いていた金曜夜市の集客アップを実現



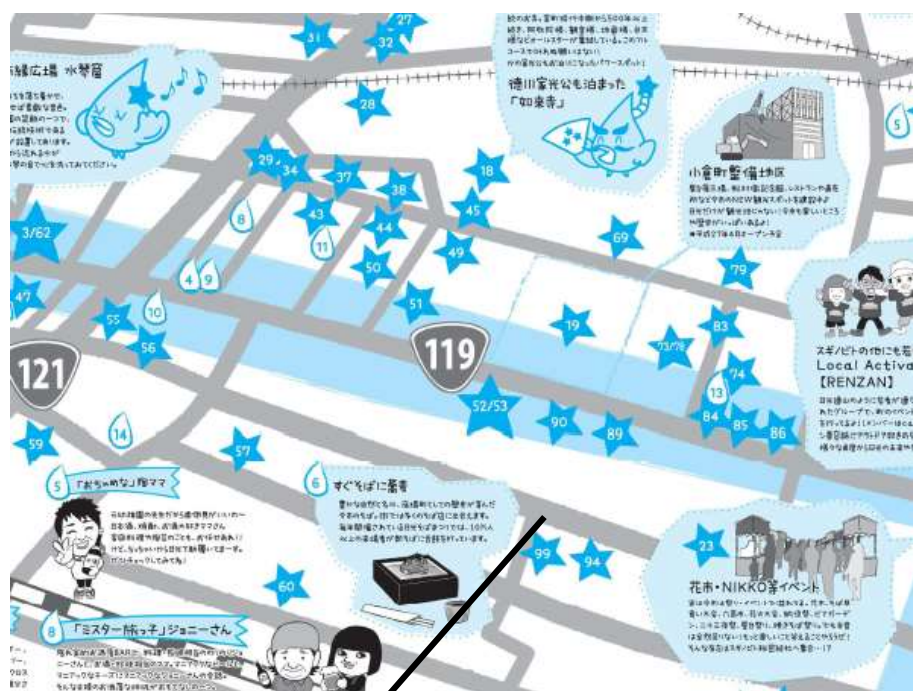
出典：中小企業庁HP

桜の開花時期に、地元畳店の畳を商店街に敷いて、花見ができるイベントを

(3)まちの担い手づくりの取組

■事例3：栃木県日光市 若手による「歩きたくなるまちづくり委員会」 ～若手のまちの担い手づくりと、人々の巻き込み～

- 拠点整備を契機に、ソフトの取組により中心市街地への回遊創出のため、日光市の呼びかけにより、**若者を中心とした「歩きたくなるまちづくり委員会」**を発足。日光市は事務局として会をサポート。
- まちあるきマップの作成から開始し、まちバルのやビアガーデンの開催、更には地元出身者の大同窓会の企画など、**楽しんでまちに活気を与えることをテーマに様々な取組を企画**し、メンバーは当初の7名⇒20名超に増加。



まちあるきマップを作成。飲食店のマップは観光客等から毎月1,000枚の利用がある



チケット制で飲食店での飲み・食べ歩きを促すまちなかバルは好評で、飲食店のやる気UPやメンバー増加につながる



解体する店舗の屋上を活用した「さよならビアガーデン」の開催

(3)まちの担い手づくりの取組

■事例4：新宿区淀橋町会（よどばしエリアマネジメント） ～新旧住民の交流によるつながりづくり～

- 再開発が進む西新宿5～6丁目エリアでは、60年以上の歴史のある淀橋町会が中心となり、**地元住民とマンションの新住民、商業者やオフィスで働く人々を結びつけるため、地域防災・防犯活動・地域交流促進活動を実施。**
- 周辺の工学院大学や新宿区のサッカーチーム等と連携し、「**よどばしコミュニティフェスタ**」等のイベントを実施し、新旧住民の交流を深めている。



毛布担架レース



防災陣取りゲーム



飲食店・縁日も出店

遊び・ゲームを通して防災の知識を高める
「アソボウサイ」をテーマとし、遊びながら
防災を学べる企画

商店会や周辺の大学からも
ブース等の出店

出典：新宿区HP

(3) まちの担い手づくりの取組

■ 事例 5 : 北海道美^{びばい}唄市「Bibai Beautiful Movement (BBM)」 ～若手等の有志によるまちを良くする活動～

- 美唄市では今後の人口減少を見据え、高校や事業者等に声掛けし、将来を担う若手による**市民参加型のシティプロモーション活動**を開始。
- 市民ワークショップを開催し、**出たアイデアを参加者と協働で実現**。その際に、“仲間”や“イベント”を見つけるWEBプラットフォーム「Bibai Beautiful Movement (BBM)」を、株式会社FoundingBaseが運営。
- 「地域活動に参加したい／主催したい」人達がBBMに登録することで、地域を良くする活動の情報を受け取ったり、美唄の未来について話し合う場への参加ができ、**多くの人々を巻き込む仕組み**となっている。



出典：美唄市HP



出典：美唄市HP



出典：美唄市HP

人々のつながりを作るご飯会、関心のある人たちで 集まる読書会など、
つながりを作る様々な企画を実施。これまで延べ2,000人が参加。

(3)まちの担い手づくりの取組

■事例6：目黒区西小山「クラフトビレッジ西小山」 ～事業者との協働により、まちに新たなプレイヤーを呼び込む取組～

- 西小山駅周辺での共同建替えにあたり、事業中も賑わいが存続できるよう、(株)ピーエイの協力により、**空き地を活用したグランピングやドッグラン**等を実施。
- 建替えが進む中、**コンテナによる店舗**で新たな飲食店が出店し、週末には音楽等の様々なイベントを実施することで、**若者や子連れなどが集まる賑わいの場**となっている。
- 町会・商店会の会合にこの場所を活用いただくことで、**町会等とのつながりを育む**。



出典：地域ニュース号外ネット
目黒区HP

建替中の空き地を活用して
グランピングの場づくり



コンテナによる店舗に
若手などの新しい店舗
が出店



椅子・テーブル等で人々
が集まれる場を創出

(3)まちの担い手づくりの取組

◎堀切菖蒲園駅周辺地区で活かせる点

- 菖蒲まつりをはじめ、堀切わくわくフェスタや合同防災訓練など、年間を通じて様々な地域イベントが実施され、**地域の力**を感じられる
- 駅北側では新しいマンションが立地し、**若い世代が流入**
⇒まちの若返りや**まちづくりの新たな戦力**となってくれる可能性



出典：堀切あやめ連HP

葛飾菖蒲まつりでは、舞台イベントや大通りでのパレードなど、地元の様々な団体が参加



出典：堀切商店会HP

地元の様々な団体によるステージイベントを開催



新築マンションには若い世帯が流入

3 意見交換

テーマ:「歩いて楽しい空間や賑わいづくり」

- (1) 事例を見て、駅周辺地区に生かせそうなこと
- (2) 駅周辺の賑わいづくりのため、すぐに
出来そうなこと、区と協働で取り組んでみたいこと

4 今後の予定

- 視察会の概要
- 次回勉強会の案内